

|        |  |
|--------|--|
| プログラム名 | <h1>ピザづくり</h1>   |
| ねらい    | ピザの調理を通して、包丁の扱いに慣れ、熱の通りをよくしたり食べやすくしたりするなどの目的に合わせて、材料を適切に切ることができる。                    |
| 内容     | 白神こだま酵母を使用した発酵種でピザを作ります。生地をのばしたり具材を包丁で切ったりする体験があります。自分たちで作ったピザを焼き上げた後は、みんなで楽しく会食します。 |

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

|  |    |
|--|----|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 家庭 B衣食住の生活(2) 調理の基礎</li> <li>・ 中学校 技術・家庭 家庭分野 B衣食住の生活(3) 日常食の調理と地域の食文化</li> </ul> | など |
|--|----|

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【彩りを考えて思い思いにトッピングする様子】



【アドバイスし合って、交代で食材を切る様子】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

| 学習指導要領に示されている資質・能力                     |   |
|--|---|
| 実際の社会や生活で生きて働く<br>知識及び技能の習得            | ○ |
| 未知の状況にも対応できる<br>思考力・判断力・表現力等の育成        |   |
| 学んだことを人生や社会に生かそうとする<br>学びに向かう力、人間性等の涵養 |   |

| “「問い」を発する子ども”の具体的な姿                   |   |
|---------------------------------------|---|
| 問題を発見する姿<br>「それは、どういうことか？」            |   |
| 解決に向けて他者と関わろうとする姿<br>「こうするとよいのではないか？」 |   |
| 主体的に問題解決を図ろうとする姿<br>「こう考えるがどうか？」      | ○ |

◆ プログラムの展開例 「ピザづくり」

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 学校等での<br>事前学習<br>※必要に応じて | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験活動「ピザづくり」の食材について、栄養的な特徴を調べる。</li> <li>・ 食器や包丁等の用具の安全で衛生的な取扱いについて知り、扱いに慣れる。</li> </ul> |
|--------------------------|--|

|   | 児童生徒の活動内容  | 指導者側の留意点  |
|---|--|---|
| あきた白神<br>体験センター<br>での<br>学習<br><br>【110分】 | 1. 活動のめあてを確認する。【5分】<br>具の大きさを整えて切り、おいしいピザを焼こう。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 包丁の安全な扱い方とピザづくりの調理手順を掲示しておく。</li> <li>・ 具材に十分熱を通すこと、食べやすくすることの2点を視点として示す。</li> </ul> |
|   | 2. 活動の見通しをもつ。【15分】<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料と作り方を確かめる。</li> <li>・ 包丁の安全な使い方を確認する。</li> <li>・ 切り方について意見交換する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕上がりのイメージをもつことができるように、班内のペアで具材の切り方を相談する時間をつくる。</li> </ul>                            |
|   | 3. 具材を適した大きさに切る。【20分】<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ タマネギ、ピーマン、ミニトマト、ベーコンを包丁で切る。</li> <li>・ グループやペアで教え合って切る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 包丁で切る役、見て助言する役、この二役を繰り返して担う中で、気付いたことを交流したり試したりできるよう助言する。【学校職員】</li> </ul>            |
|   | ☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆  |   |
|   | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>“問い”の例</p> <p>◎火を通りやすくするために薄く切ってみるのはどうかな？</p> <p>・ 転がるミニトマトを安全に切るには？</p> </div>  |   |
|   | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いい考えだね。小さく切る方法もあると思うよ。</p> <p>トマトのヘタを取った凹みを下にするといいよ。</p> <p>発言：児童生徒</p> <p>支援：指導者</p> <p>食感や彩りのバランスも切り方によって変化することを伝える。</p> <p>食べやすさや見た目も考えて切ろう。</p> <p>平らな面を下にすると安定することを教える。</p> <p>◎薄く小さく切れたぞ。これで早く熱が入りそうだ。</p> <p>・ 安全に包丁で切ることができた。</p> <p>解決の姿</p> <p>タマネギも切り進めた後半に倒すと安全に切れるよ。</p> </div> |   |
| 4. 生地をのばして具材をのせる。【20分】                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全や衛生に注意して調理している様子を褒め、意欲を高める。【学校職員】</li> </ul>  |   |
| 5. ピザをホットプレートで焼く。【20分】                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 片付けや食器の準備をする。</li> </ul>  |   |
| 6. 会食して活動を振り返る。【30分】                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返りのポイントを示す。</li> </ul>  |   |

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 学校等での<br>事後学習<br>※必要に応じて | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食材の切り方の他に、包丁の運び方、渡し方、置き方、洗い方など多様な観点から包丁の扱いについて調べる。</li> <li>・ 地域の具材を使って、オリジナルのピザを作ってみる。</li> </ul> |
|--------------------------|---|

|        |   |
|--------|---|
| プログラム名 | <h1>小枝のボールペン</h1>   |
| ねらい    | 材料の枝選びから始める小枝ペンの創作を通して、感じたことや見たことから発想や構想をし、形や装飾を工夫して作ることができる。                 |
| 内容     | 小枝の形や色、持ったときの重さや感触を味わいながら材料を選びます。小刀やホットペン等の用具を用いて削ったり装飾したりしながら、手製の小枝ペンをつくります。 |

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

|  |    |
|--|----|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 図画工作 第3～6学年 A表現</li> <li>・ 中学校 美術 第1～3学年 A表現</li> </ul> | など |
|--|----|

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【小刀でペンの形に削る様子】



【ドリルの使い方について教え合う子どもたち】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

| 学習指導要領に示されている資質・能力                     |   |
|--|---|
| 実際の社会や生活で生きて働く<br>知識及び技能の習得            |   |
| 未知の状況にも対応できる<br>思考力・判断力・表現力等の育成        | ○ |
| 学んだことを人生や社会に生かそうとする<br>学びに向かう力、人間性等の涵養 |   |

| “「問い」を発する子ども”の具体的な姿                   |   |
|---------------------------------------|---|
| 問題を発見する姿<br>「それは、どういうことか？」            |   |
| 解決に向けて他者と関わろうとする姿<br>「こうするとよいのではないか？」 | ○ |
| 主体的に問題解決を図ろうとする姿<br>「こう考えるがどうか？」      |   |

◆ プログラムの展開例 「小枝のボールペン」

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 学校等での<br>事前学習<br>※必要に応じて | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小枝のボールペンの見本を見て、イメージを広げたり材料を集めたりする。</li> <li>・ 簡単な小刀類や小刀の使い方を知り、鉛筆を削るなどして、扱い方に慣れる。</li> </ul> |
|--------------------------|---|

|  | 児童生徒の活動内容  | 指導者側の留意点  |
|--|--|---|
| あきた白神<br>体験センター<br>での<br>学習<br><br>【90分】 | 1. 活動のめあてを確認する。【5分】<br>お気に入りの小枝を選んでオリジナルペンをつくろう。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の思いに合う材料を見付けられるように、樹種や形、太さの違う小枝を十分に用意する。</li> </ul>  |
|  | 2. 活動の見通しをもつ。【5分】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工程を確かめる。</li> <li>・ 用具の種類と使い方を知る。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用具を安全に使用できるように、正しい使い方を実際に見せて説明する。</li> </ul>   |
|  | 3. 小枝のボールペンをつくる。【70分】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小枝を選ぶ。</li> <li>・ 小枝にドリルで穴を開ける。</li> <li>・ 小刀で形を削り出す。</li> <li>・ ホットペンやカラーペンで装飾する。</li> <li>・ ペン芯を差して仕上げる。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イメージに合った材料をじっくり選べる時間を確保する。</li> <li>・ 活動の場を対面型で設定し、児童生徒の交流が生まれるようにする。</li> <li>・ よりよい作品にするために気付いたことを積極的に伝え合うよう助言する。【学校職員】</li> </ul> |
|  | ☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆  |   |
|  | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>“問い”の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲がった枝が気に入ったけどペンにできるかな？</li> <li>◎トレッキングで感じた森の様子を小枝ペンに表したい。</li> <li>ホットペンで何を描こうかな？</li> </ul> </div> |   |
|  | 持つと手に馴染みそう。ヘビの形に見えてかっこいい。  | ペン先はヘビの頭の形に削ってみよう。顔も描くぞ。  |
|  | 森の散策体験で印象深かったことを想起させる。   | 描いた模様や色は、小刀で削ると修正でき、いろいろ試せることを伝える。  |
|  | 日光で輝くブナの葉がきれいだったな。   | 葉の模様はカラーペンで緑色にしたいな。   |
|  | ・ 選んだ枝がますます気に入った。この形を生かしてデザインするぞ。<br>◎ブナの葉をモチーフにしてホット  | 解決の姿  |
|  | 4. 後片付けをする。【5分】<br>5. 活動を振り返る。【5分】   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 素材のよさを生かした作品作りをしている児童生徒を褒め、意欲を高める。【学校職員】</li> <li>・ 振り返りの観点を示す。</li> </ul>   |

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 学校等での<br>事後学習<br>※必要に応じて | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品に題名を付け、展示する。</li> <li>・ 鑑賞会をひらき、発想や表し方、材料の生かし方などについて、よさや面白さを見つけながら楽しく見る。</li> </ul> |
|--------------------------|--|

|        |  |
|--------|--|
| プログラム名 | ジオサイトツアー   |
| ねらい    | 八峰町のジオサイトスポットを巡る活動を通して、大地の成り立ちを知り、自然とそこに生きる人との関わりを学ぶことができる。        |
| 内容     | 秋田県天然記念物に指定されている樺海岸の柱状節理。溶岩が固まってできた岩石を観察したり、触れたりしながら大地の変化について考えます。 |

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

|  |    |
|--|----|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 理科 第6学年 B 生命・地球(4)土地のつくりと変化</li> <li>・ 中学校 理科 第1学年 第2分野(2)大地の成り立ちと変化</li> </ul> | など |
|--|----|

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【樺海岸の柱状節理の様子】



【柱状節理について学ぶ生徒の様子】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

|  |   |
|--|---|
| 学習指導要領に示されている資質・能力                     |   |
| 実際の社会や生活で生きて働く<br>知識及び技能の習得            | ○ |
| 未知の状況にも対応できる<br>思考力・判断力・表現力等の育成        |   |
| 学んだことを人生や社会に生かそうとする<br>学びに向かう力、人間性等の涵養 |   |

|                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| “「問い」を発する子ども”の具体的な姿                   |   |
| 問題を発見する姿<br>「それは、どういうことか？」            | ○ |
| 解決に向けて他者と関わろうとする姿<br>「こうするとよいのではないか？」 |   |
| 主体的に問題解決を図ろうとする姿<br>「こう考えるがどうか？」      |   |

◆ プログラムの展開例 「ジオサイトツアー」

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 学校等での<br>事前学習<br>※必要に応じて | <ul style="list-style-type: none"> <li>礫や砂、泥、火山灰など地層をつくっているつぶの種類や、地層のでき方について調べる。</li> <li>地震や火山の噴火によって、大地の様子はどのように変化するのか考える。</li> </ul> |
|--------------------------|---|

|                                     | 児童生徒の活動内容   | 指導者側の留意点  |
|-------------------------------------|---|---|
| 鹿の浦展望台<br>～樺海岸での<br>学習<br><br>【60分】 | 1. 活動のめあてを確認する。【5分】<br>樺海岸の地形のひみつをさぐろう。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>持ち物、服装などを確認し、活動の見通しをもたせる。</li> <li>ジオサイトスポットを巡るコースを確認する。</li> </ul>                              |
|                                     | 2. 鹿の浦展望台から八峰町の海岸の地形を観察する。【15分】<br><ul style="list-style-type: none"> <li>鹿の浦展望台から見て、北側と南側の様子の違いを見付ける。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>地震によって土地が隆起することを想起させ、北側は磯浜、南側では砂丘が続いていくことをおさえる。</li> </ul>                                       |
|                                     | 3. 樺海岸に移動し、柱状節理を観察する。【30分】<br><ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドさんの話を聞きながら、大地の様子の変化について学ぶ。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>問いが生まれるように、岩の表面や形状に着目させる。【学校職員】</li> <li>岩場に気を付けながら活動するよう声掛けをする。【学校職員】</li> </ul>                |
|                                     | ☆次のような「問い」を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆  |   |
|                                     |   |   |
|                                     | 4. 活動のまとめと振り返りをする。【10分】   | <ul style="list-style-type: none"> <li>火山の噴火によって、溶岩や火山灰が生活に影響を与える可能性があることを想起させる。【学校職員】</li> <li>体験を通して学んだことを交流させ、学びの価値付けを行う。</li> </ul> |

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 学校等での<br>事後学習<br>※必要に応じて | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが住んでいる地域で、過去に地震や火山の噴火による災害が起きたかどうかを調べたり、災害への備えの工夫について考えたりする。</li> <li>ジオパークは日本全国に広がっていることを調べる。</li> </ul> |
|--------------------------|--|

あきた白神体験センター 体験活動プログラム

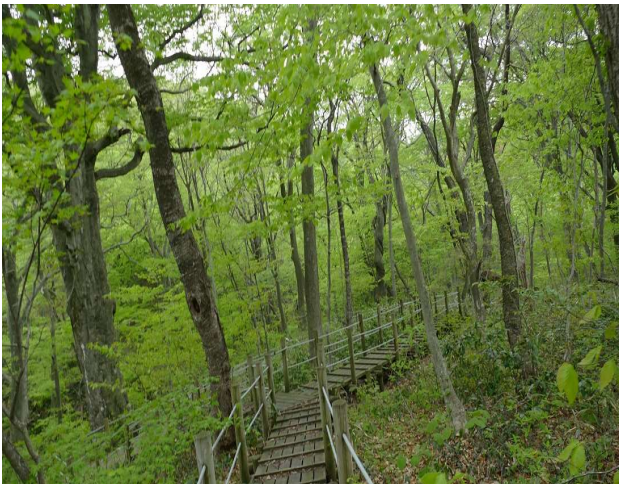
|        |  |
|--------|--|
| プログラム名 | 留山散策   |
| ねらい    | ブナやミズナラなどの観察を通して、森林の働きや森林保護について学ぶことができる。   |
| 内容     | 留山は標高180mの里山で、遊歩道が整備されています。ブナの森のふかふかの土壌は、水をためてゆっくり海へと流れ出ていくことから、水の循環や森林の働きについて学ぶことができます。 |

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

|  |    |
|--|----|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 社会 第4学年(2)人々の健康や生活環境を支える事業</li> <li>・ 小学校 社会 第5学年(5)我が国の国土の自然環境と国民生活との関連</li> <li>・ 中学校 理科 第3学年 第2分野(7)自然と人間</li> </ul> | など |
|--|----|

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【留山の様子】



【留山を散策する子どもたちの様子】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

|  |   |                                       |   |
|--|---|---------------------------------------|---|
| 学習指導要領に示されている資質・能力                     |   | “「問い」を発する子ども”の具体的な姿                   |   |
| 実際の社会や生活で生きて働く<br>知識及び技能の習得            |   | 問題を発見する姿<br>「それは、どういうことか？」            | ○ |
| 未知の状況にも対応できる<br>思考力・判断力・表現力等の育成        |   | 解決に向けて他者と関わろうとする姿<br>「こうするとよいのではないか？」 |   |
| 学んだことを人生や社会に生かそうとする<br>学びに向かう力、人間性等の涵養 | ○ | 主体的に問題解決を図ろうとする姿<br>「こう考えるがどうか？」      |   |

◆ プログラムの展開例 「留山散策」

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 学校等での<br>事前学習<br>※必要に応じて | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水源の森という意味を考えさせ、森林が秋田県や県北地域にどのように広がっているか調べる。</li> <li>・ 森林とわたしたちのくらしの関わりについて調べる。</li> </ul> |
|--------------------------|---|

|  | 児童生徒の活動内容   | 指導者側の留意点  |
|--|---|---|
|  | 1. 活動のめあてを確認する。【5分】<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">留山のひみつをさぐろう。</div> 2. 活動の見通しをもつ。【5分】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題について予想をする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4,5年生の社会科の学習を想起させ、留山を散策しながら自然のよさを味わったり、森林の働きなどについて考えたりすることをおさえる。<br/>【学校職員】</li> <li>・ 留山の名の由来を伝え、なぜありのままの自然を残す必要があったのか考えさせる。</li> </ul> |
|  | 3. 留山を散策をする【80分】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループごとに山に入り、森の魅力を感じながら散策をする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガイドさんから山の活動の注意点を話してもらう。</li> <li>・ 色や音、香り、空気など森を感じる視点を与える。【学校職員】</li> </ul>  |

☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆

“問い”の例

木の周りの土がふかふかしているよ。

ふかふかな土があるおかげで、雨水はどうなっていくのか予想させる。

発言：児童生徒

◎留山のぶなの木は、どのような働きをしているのだろうか？  
・ 留山にはどんな生き物がいるの？

支援：指導者

◎ぶなは雨水を蓄える保水力が高く、洪水や濁水を防ぎ、きれいでおいしい水を私たちに与えてくれる。  
・ 森は、鳥や小動物、熊などの生き物にとってすみかやえさを与える場になっている。

生き物が残っていた跡に着目するよう助言する。

これは何の動物のフンかな。木の幹をかじった跡もあるよ。

解決の姿

|  |                         |  |
|--|-------------------------|--|
|  |                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海や地上にある水が水蒸気になって雨が降るなど、水の循環も関連付けながらおさえる。【学校職員】</li> </ul> |
|  | 4. 活動のまとめと振り返りをする。【10分】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験を通して学んだことを交流させ、学びの価値付けを行う。</li> </ul>                   |

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 学校等での<br>事後学習<br>※必要に応じて | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林を守るための工夫や努力について理解を深めるために、林業に携わる方の話を聞く。</li> <li>・ 国土を保全する豊かな森林を守っていくために、自分たちにできることを考える。</li> </ul> |
|--------------------------|---|